

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 23 年 9 月 8 日(木)

第 18 号

発行人 校長 鈴木史良

子どもの安全を考える

—— 「警報」が発令されたときの対応について——

9月2日から5日にかけて、台風12号が四国、中国地方を縦断し、各地に大きな災害をもたらしました。9月7日付静岡新聞朝刊によると死者・不明者が104人にのぼっています。河川の氾濫や山崩れによる土石流で家を失った多くの方々や道路が寸断されて孤立状態にある集落もあるとの報道に接し、台風12号のもたらした災害が尋常ならざるものであることが伺われます。現地では休校になった高校生たちがボランティアとして老人世帯を訪ね、床上の泥などの掃き出し作業をしているとのこと。日本の若者のすばらしさを感じました。

本校では、台風接近のため9月1日(木)の下校時刻を早め、2日(金)と5日(月)の日課を入れ替え、金曜は弁当持参、県学力調査テストは月曜に延期として台風に備えました。

ところが、今回の台風は通過スピードが非常に遅く、5日(月)朝の時点で裾野市の大雨警報は解除されていませんでした。裾野市に警報が一つでも出ていると、安全のために登校を控えるという原則があり、これは保護者の皆様とも共通理解している事柄です。しかし、県学力調査テストの実施も考えていかねばならず、市内や駿東地区の他校の状況を調べました。すると清水町以外の中学校はすべて実施の方向であることがわかり、本校も登校を控えている状態を解除し、授業を実施することを決断いたしました。したがって、県学力調査テストも1時間遅らせて実施することができました。深良小学校でも授業を平常通り実施したとのことで、今回は原則通りとはなりませんでしたが、大雨警報が発令されていたのですが、結果論としては大雨にはならなかったもので平常通りの授業が実施できました。

このような問題は今後も十分あり得ることが考えられます。今回も「まもメール」を使った連絡が迅速に行われました。今後も「まもメール」を中心に保護者の皆様への連絡態勢の精度を高めていくと同時に、深良地区にある学校として、安全問題については小学校と中学校が連携し、対応がまちまちになることがないように十分協議していきます。



避難訓練で整然と避難する生徒たち(8.29)



台風接近による下校時の昇降口の様子(9.2)

—— 車で送迎される場合のお願い ——

台風接近による大雨が懸念された2日（金）は部活動をカットし、下校時刻を午後3時30分に早めました。下校時刻には多くの子どもたちが昇降口付近にいて雨が小降りになるのを待っていたり、迎えの車を待っていたりしました。雨の中、傘をさして帰る子どもたちもいる中、数台の車が正門の中に進入して昇降口前まで寄せてくるという事例がありました。子どもたちの安全を考え、送迎場所は正門の外に設定してありますが、わたしが直接話をすると、そのことについては知らなかったということでした。改めて保護者の皆様に送迎の乗降車場所の確認をお願いいたします。

後期生徒会本部役員が決定！

9月5日（月）に後期生徒会立会演説並びに投票が行われ、後期生徒会本部役員が決定いたしましたので、ご紹介いたします。

生徒会長	望	月	大	空さん（2年A組）
副会長男子	鈴	木	仁	平さん（2年A組）
女子	倉	田		桃さん（2年B組）
庶務男子	西	島	佑輝也さん（1年A組）	
女子	北	村	歩	里さん（1年B組）

いろいろな企画と実行力で学校行事、生徒会行事を盛り上げてくれた前期本部役員の皆さんにかわり、1，2年生を中心としたフレッシュな生徒会本部が誕生しました。これまで積み上げてきた先輩たちの実績をふまえ、新たな牽引者となって深良中学校の生徒会をよりよい方向に導いてくれるものと期待しています。

中学生の地区行事への参加について

10月には深良地区体育大会や深良地区クリーンアップ作戦が行われます。深良地区の主要な年間行事には、中学生として出席することが大切だと考えています。中学生として地域の次世代の力になること、被災時には被災者のために積極的にボランティア活動できること等、いつまでも地域から面倒をみられる“大きな子ども”ではなく、地域社会に少しでも貢献できる“小さな大人”になっていく必要があると思います。地区行事が予定されている日に部活動の公式大会、公式試合等がある場合は部活動を優先させていただきますが、それ以外の練習試合等は計画しない方針ですので、地区行事への参加について、ご家庭でも呼びかけをお願いいたします。

家庭教育学級でモザイクタイルアート体験

アートモザイクデザイナーの金井数江氏を講師としてお迎えし、家庭教育学級講座が楽しく行われました。モザイクタイルの美しさに心惹かれました。

